

第一回 水族館学 in 京都

ウミガメ保全と 大学・水族館

ウミガメ親父の反省会

～ウミガメの保全現場の親父達は
大学や水族館をどうみてたのか？～

日本のウミガメに関する学問や保全は
この20年で飛躍的に進歩したと言われ、
海外の関係者からも評価は高い。
その理由としては現場のボランティアと水族館、そして
大学の研究者がうまく協働したからだともいえる。
しかし、この協働関係が評価されたことはない。
今回は小笠原、屋久島などウミガメの産卵地に視座をすえ、
この協働関係を振り返り、反省点を後世に残すことを目的としている。

2016.02.27 Sat 09:00-

於 京都大学理学研究科セミナーハウス
〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

申込不要／入場無料

主催 京都大学野生動物研究センター・神戸市立須磨水族園・
京都大学霊長類学ワイルドライフサイエンスリーディング大学院



PROGRAM

- 9:00-9:15 趣旨説明 亀崎直樹（岡山理科大学 / 須磨海浜水族園）
- 9:15-9:40 日本のウミガメ研究と保全の概観 松沢慶将（日本ウミガメ協議会）
- 9:40-10:05 海洋博公園におけるウミガメ研究 河津 勲（沖縄美ら島財団）
- 休憩
- 10:25-10:50 名古屋港水族館におけるウミガメ研究 栗田正徳（名古屋港水族館）
- 10:50-11:15 日本におけるウミガメ関係の博士論文の分析 石原 孝（須磨海浜水族園）
- 11:15-11:40 東京大学で行われたウミガメ研究の紹介 榎崎友子・佐藤克文（東京大学大気海洋研究所）
- 昼食
- 13:00-13:25 小笠原におけるアオウミガメの保全活動 菅沼弘行（ELNA）
- 13:25-13:50 屋久島におけるアカウミガメの保全活動 大牟田一美（屋久島うみがめ館）
- 13:50-14:15 遠州灘海岸におけるウミガメ保全の問題点 田中雄二（表浜ネットワーク）
- 休憩
- 14:30-16:30 パネルディスカッション
- ウミガメ保全において大学・水族館のはたした役割
～日本の野生動物の保全と研究はどうあるべきか～
- 司会 亀崎直樹（岡山理科大学 / 須磨海浜水族園）
- パネリスト 大牟田一美（屋久島うみがめ館）
菅沼弘行（ELNA）
田中雄二（表浜ネットワーク）
榎崎友子（東京大学大気海洋研究所）
河津 勲（沖縄美ら島財団）
栗田正徳（名古屋港水族館）
- 16:30- 閉会の挨拶 幸島司郎（京都大学野生動物研究センター）

お問い合わせ先

京都大学野生動物研究センター 事務掛 担当：大槻・高橋
jimu_yasei@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

神戸市立須磨海浜水族園 担当：亀崎・石原
tel：078-731-5020 / info@sumasui.jp

※会場は須磨海浜水族園ではございません。ご注意ください